

平成29年12月8日

認定特定非営利活動法人
経営支援NPOクラブ
理事長 世良 正

平成29年度（平成30年3月期）中間事業報告

1. 平成29年度上期の活動を振り返って：

当 NPO の活動の基本方針は、中小企業経営支援を始めとする様々な社会貢献を積極的に実行する事を通じて、会員の生き甲斐並びに活性化を目指す事でありますが、下述の通り、会員各位のご尽力により本年度上期の活動も、大変充実したものになったと自負して居ります。以下、本29年度の通期予想概況、本29年度上期の活動状況並びに下期への展望の順にご報告申し上げます。

2. 平成29年度通期予想概況：

会員の皆様のご活躍に依り、本平成29年度中間事業報告時点での通期予想は、期首計画を大幅に上回り改善が見込まれる見通しとなりました。

本半期の主要事業毎の活動内容報告を中期活動方針の重点活動項目に従い後述致しますが、経常収入が期首予算を大幅に上回る見通しが立ちましたのは、主力事業である中央官庁並びに各地方局、多くの地方自治体、公益財団法人、商工会議所、地域金融機関等との販路開拓支援を中心とする事業活動が概ね順調で有った事に加え、ヘルスケア関連事業が大きく前進、又、各地区の経産局より直接、間接に委託を受けました多くの地域中核企業創出支援事業新規案件が成立出来た為で有ります。

今年度に入りましてからも多くの多彩な新会員を迎え入れる事が出来、本年9月末現在の会員数は、217名に増加し、誠に心強く、今後は更に充実した活動が展開出来るものと大いに期待して居ります。

3. 平成29年度上期の活動状況並びに下期への展望：

今期に入りましてからも、世界経済は、米国を中心に3%台としっかりした足取りでの成長が続いて居り、其の恩恵を受けて、為替相場の安定、好調な株式市況を背景に日本経済も緩やか乍ら引き続き成長が見込まれます。

一方、IOT、AI を中心に、所謂第4次産業革命が進行する中で、後継者難、人手不足、特に変化に対応できる技術、知識を持った人材確保が困難な中小企業にとり、この様な急激な変化に如何に対処するか、難しい局面を迎えて居ります。この様な状況下で、多くの課題を抱えて居る中小企業からの支援の要請に応えられる様、我々自身も、対応能力の向上を図り乍ら、支援先にとり、頼りがいのある支援活動が継続できるよう、引き続き努力したいと考えて居ります。

平成29年度上期の活動実績内容、並びに下期の活動の展望に付き、下記の通り順次説明申し上げます。

1) 主力の販路開拓を中心とする地方自治体、公益財団法人、商工会議所等との事業展開

本年度に入りましてからも、多くの地方自治体、公益財団法人、商工会議所等の委託先の協力を得て、順調に事業が展開する中で、特に下記の13に及ぶ委託先とは、大変充実した取組が出来ました。

殆どの委託先とは事業規模の変動は有れ、下期にも同様の支援活動の継続が期待され、引き続き本事業は、当NPOの中核事業として展開して参ります。

- ア) 徳島県
- イ) 佐賀県
- ウ) みやぎ産業振興機構
- エ) 四国 STEP (I) (II)
- オ) 浜松商工会議所
- カ) 静岡おみや
- キ) やまぐち産業振興財団
- ク) 長野県
- ケ) 板橋区、葛飾区
- コ) 埼玉県
- サ) 産業交流展コーディネート事業・日広通信社
- シ) いわき産官学ネットワーク
- ス) 鹿沼市

2) ヘルスケア関連事業への展開：

ヘルスケア関連分野は、国を挙げての戦略的成長支援産業分野で有り、当NPOとしても引き続き最重要分野の一つとして前向きに取り組んで居ります。今期に入り、中国経産局ダイヤ工業案件が引き続き力強く順調に進展して居る事に加え、北海道経産局案件の委託を受けた事を契機として、本産業分野の集積地である関東地区管轄の関東経産局との強い結び付きも出来ました。ヘルスケア研究会も、メンバーが14名と増強され、三菱総研との、従来の新規販路開拓を中心とした支援とはことなるモデルでの支援活動をきっかけに、新たな事業展開、新たな人材確保が出来る事を期待したいと思います。

- ア) 地域中核企業創出支援事業（中国経産局・ダイヤ工業）
- イ) ヘルスケア研究会の活動ー（含）三菱総研伴走コンサル

3) 地域金融機関との取組：

従来からの首都圏在の信金各社との取り組みに加え、昨年度より東北地区信用金庫協会との本格的な取り組みが開始され、本年度も新販路開拓支援を中心に活発な活動を継続して

居ります。

信金との取り組みを更に全国規模に広げると共に、他の地域金融機関との取り組みも引き続き前向きに追及いたしたいと思ひます。

ア) 東北地区信金協会

イ) 城北信金、その他信金

4) 中小企業中央会との取組

昨年度より継続して居ります、岡山県中央会との活発な取組に加え、今年度に入り、四国4県中央会から各県中央会の会員各社の首都圏に於ける新規販路開拓を目的として11月に開催されました展示商談会への企業招致を当 NPO が受託致しました。準備期間が短かったにも拘わらず、本展示商談会への招致企業数、来訪者数共に、期待以上の盛り上がりを見せました。本展示商談会は来期以降も継続開催の予定で、引き続きの受託を期待したいと思ひます。

5) 広報・講演会・若人育成支援事業 (NPO サロンも含め)

広報活動に関しましては、メルマガ配信を開始、又当 NPO の概要を紹介するアニメ動画を作成しホームページに掲載、更に当 NPO の CSR 活動を説明したサブ・リーフレットを作成する等、当 NPO の幅広い活動をアピールするべく積極的な活動を続けて居ります。

一方、講演会・若人育成支援事業に関しましては、引き続き各団体・組織、教育機関への講師派遣、短大よりのインターン受入れ、「サイエンス・アゴラ」等への積極的な参加を通じて活発な支援活動を継続中です。

6) 海外展開支援事業 (鳥取案件も含め)

引き続き、ポータルサイトを充実する事を中心に事業を進めて参ります。

継続支援中の鳥取県 WP 社案件は成約が期待されます。

韓国技術ベンチャー財団から企業誘致の依頼が有りました韓国優秀技術商談会へは、トライアルとして、前向きに取り組んで参ります。

7) 関西グループの事業活動 (近畿経産局との取組を含め、関西地区に於ける全ての取組)

グループ会員数も22名に増加し、新規販路開拓支援を中心に、地方自治体、法人団体、地域企業等との取組が、関西以西地域を中心に更に広範囲に広がって来て居り、新たに2企業と特定支援会員契約も締結致しました。

8) 福幸プロジェクト

福島復興に関する国の後期五カ年の方針、即ち「本格的な復興のステージとすると共に、被災地の自立と地方創生のモデルとなり得るような新しい東北の創造」に呼応して、今後の本プロジェクトも「今迄の風評被害対応をベースにした支援活動から、新たな地域創成へのコラボレーション」を目指し引き続き活発な活動を続けて参ります。

9) 新規案件：

昨年度の実績を背景に、的確な情報収集に基づき、中央官庁並びに出先機関、地方自治体等に、当方から新たな支援の方策、実行案を提案するという、積極的なご担当の皆様のアクションが実り、誠に喜ばしい限りですが、地域中核企業創出支援事業を中心として、下述の通り多くの大型新規事業展開が実現を見る事となりました。

① 地域案件

- ア) 北海道経産局・ノーステック財団
- イ) 東北経産局・ドゥリサーチ
- ウ) 四国経産局・STEP 次世代燃料電池システム創造支援事業
- エ) 台東区産業フェア・東京くらしのフェスティバル
- オ) 関東経産局（野上技研）
- カ) 関東経産局（大日機械工業）
- キ) 関東経産局（田島軽金属）
- ク) 中国経産局（ひろぎん経済研究所）
- ケ) 新居浜市・西条市・えひめ東予産業創造センター

② その他

- ア) モチベーション・ワークショップ

最後となりましたが、各事業活動を現場にて活発に又着実に実践されておられるグループ・リーダー以下各案件担当グループメンバーの皆様のご活躍、並びに事務局、OAチーム・広報チーム等ロジスティック部門にて皆様の活動を支えておられる方々のご尽力にも心からの敬意を表したいと思います。

以上